## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

06-152840

(43) Date of publication of application: 31.05.1994

(51)Int.CI.

HO4N 1/00 G06F 15/66 HO4N 1/411

(21) Application number: 04-293537

(71)Applicant: CANON INC

(22) Date of filing:

30.10.1992

(72)Inventor: SHIMIZU HIDETAKA

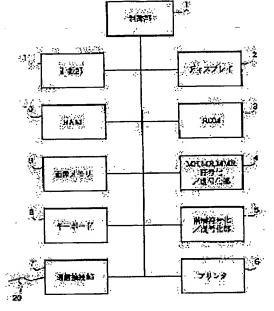
USHIDA KATSUTOSHI

## (54) COMMUNICATION EQUIPMENT

## (57) Abstract:

PURPOSE: To attain high speed processing by selecting a picture and an attribute of the picture from a list.

CONSTITUTION: A control section 1 analyzes the mode of a list indication function of a called party as to which of a so-called progressive buildup or sequential buildup coding system is available as the encoding system of the called party when a communication equipment of the called party has a list indication function. The control section 1 generates NSS data to report the mode in which a caller side communication equipment makes reception to the communication equipment of the called party based on the result of analysis. Then a hierarchical coding/decoding section 5 decodes the picture data and the data are synthesized with image data and the resulting picture is displayed on a display device 2 or printed out on a printer 6.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(43) 公開日 平成6年(1994) 5月31日

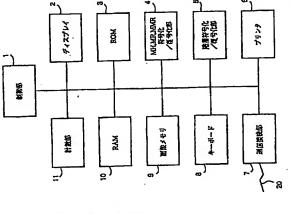
形 垣	.	\ \ \ \ +	
技術表示箇所	(全14月)	000001007 中七ノン株式会社 東京都大田区下九子3丁目30番2号 市水 次費 東京部大田区下九子3丁目30番2号 ン株式会社内 中田 副利 東京都大田区下九子3丁目30番3号 東京都大田区下九子3丁目30番3号 東京都大田区下九子3丁目30番3号 沖理土 大塚 康徳 (外1名)	
ir.		(72) ط (72) 25 日 (72) 25 日 (72) 25 日 (74) 代 (74) 代 (74)	
機別記号 庁内駿四命号 1/00 1.0.6 B 7046—5.C 15/66 3.3.0 H 8420—5.L 1/411 9070—5.C	<b>磐査開次 未請次 開水項の数8</b>	特爾平4-293537 平成4年(1992)10月30日	
(51) Int. Cl.* H04N 1, G06F 15,		(21) 出顧卷号(22) 出顧目	

(54) [発明の名称] 通信装置

57) [要約]

[目的] 画像及び画像の属性を一覧表示から選択して処 単の複数化や図る。

像データを階層符号化/復号化部5によって復号し、そ 牧陸に通知すべくNSSデータを作成する。そして、画 に発呼倒通宿装置が受信するためのモードを被呼側通信 [構成] 刺御部1は、抜呼側通信装置が一覧表示機能を 有している場合は、牧呼仰の符号化方式として、いわゆ るプログレッシブ・ピルドアップ/シーケンシャル・ビ ルドアップのいずれの方式が可能かなど、被呼回の一覧 投示機能のモードの解析を行ない、この解析結果をもと れをイメージデータと合成して画像をディスプレイ2. またはプリンタ6に出力する。



【額求項1】 回線を収容し、該回線を介して相手装置 所定信号を送出後、抜呼側装置からの複数の画像信号を **強陷的な符号化の低解像度レイヤで順次受信する手段** と画像信号を送受信する通信装配において、 [特許請求の範囲]

受信した前記複数の画像信号を路層的に復号化する復号

前記復号化された複数の画像信号を一覧表示する表示手

【静永項2】 さらに、前配一覧表示されている複数の  **前記復号化手段は、前記送檔要求に対応する画像を復号** 【樹永勇3】 前記送信要求には、該送信に係る画像の 符号化方式の要求が含まれることを特徴とする指求項2 国僚の中から少なくとも 1 つの国際を選択する手段と、 前配置択された画像の送信要求を行なう手段とを備え、 化することを特徴とする請求項1に記載の通信装置。 段とを備えることを特徴とする通信装置。 こ記載の通信装置。

【酵求項4】 前紀符号化方式は、階層符号化方式であ て前記低解像度レイヤよりも高解像度のレイヤより送信 するレイヤ要求が含まれることを特徴とする群求項3に 【閉次項5】 前配送信要求には、前配符号化方式とし 5ことを特徴とする臨水項3に配数の通信装置。

ピルドアップであることを特徴とする路求項4に記録 【樹坎頂6】 前配階層符号化方式は、プログレッシブ 記載の通信装置 の通信装置。

前配路圏符号化方式は、ツーケンシャル ピルドアップであることを特徴とする欝水項4に配做 の通信装置

ヒルドアップのいずれかを選択する手段を備えることを ケンシャル・ビルドアップ、あるいはプログレッシブ・ さらに、世的路暦年中代方式としてシー 特徴とする財水項4に記載の通信装置。 [額水場8]

[0001]

【発明の詳細な説明】

【産業上の利用分野】本発明は、画像信号を路層的に符 号化/仮号化する通信装配に関するものである。 【従来の技術】従来、通信装置が相手側装置に対して発

ば、ボーリングという方法がある。これは、発呼相手の ング通信用のメモリに格納されている情報を受信するも 原稿台にセットされている情報、または、相手側ボーリ 呼し、相手側にある情報を受信する方式として、例え のかおる。

モリに客投している画像の属性などを扱わす情報群であ [0003]また、通信装置が相手側の徴報を選択的に 受信する場合、相手側に発呼し、相手側より情報の一部 を受信する。この情報の一部とは、例えば、相手側がフ アクシミリ装置である場合、そのファクシミリ装置がメ

ಜ

特閒平6-152840

り、通信装置は、この画像の既性情報を受信する。画像 の属性としては、例えば、その回像の原像度、その回像 り、また、国際が送信国像の場合には送信先電話部号、 が受借画像の場合は発信元鬼話番号、発信元略称があ 送信先略称などの情報を示す。

住を印刷出力する。そして、その受信した回像の属性格 **報の中から所望のものを選択し、選択された原性に対応** する国像情報を再度、送信させるという方法をとってい る。なお、通信する圧縮符号化方式には、MH方式、M [0004] 受信側の通信装墜は、相手側ファクシミリ **装置に装積されている情報の一部、すなわち、固像の風** R方式,MMR方式在どがある。

[0005]

しか受信できず、また、それらを選択する場合でも回像 多い場合、発復元情報、送信先情報だけでは僚報の重要 性がわからず、それを回避するために相手と交信した回 [発明が解決しようとする瞑題] しかしながら、上紀従 受信する場合に不便がある。特に、同一相手との交信が **中の通信装置では、相手側にある情報は決められたもの** 像を全て送信してもらう必要があり、強信費用が寄しく **樹粗などを伴っていないため、相手側の樹粗を選択して** かさむという問題がある。 ន

わけ中間顕を有する写真画像などの送信の場合、伝送院 は、固像及び固像の属性を一覧表示して画像の選択を容 易にし、操作の容易性、及び処理の高速化が実現可能な が、MH方式、MR方式、MMR方式であるため、とり [0006] そして、通信に使用する圧縮符号化方式 間が奢しく長くなるという問題がある。本発明の目的 通信装置を提供することである。

[0007]

ຂ

と、前配復号化された複数の画像信号を一覧表示する数 め、本発明は、回線を収容し、該回線を介して相手装置 と画像信号を送受信する通信装置において、所定信号を 送出後、被呼倒装置からの複数の画像信号を階層的な符 **身化の低解像度レイヤで順次受信する手段と、受信した** 【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するた 前配複数の画像信号を階層的に復号化する復号化手段 示手段とを値える。

【作用】以上の構成において、固像及び回像の腐性を一 覧表示から選択して処理の高速化を図るよう機能する。 [0008] \$

【奥施例】以下、孫付図面を参照して、本発明に係る好 に係る通信装置の構成を示すプロック図である。 同図に 節であり、例えば、マイクロプロセッサなどで構成され ている。2は、送受信画像、管理情報などを表示するた めのディスプレイ、3は、各種傾仰を行なうためのプロ 商な実施例を詳細に説明する。図1は、本発明の実施例 おいて、1は、本芸型における各組の制御を行なう制御 [0000]

グラム情報などを記憶したROM、4は、MH, MR,

3

MMR方式の符号化・復号化を行なうMH・MR・MM R符号化/復号化部、5は、階層的に符号化·復号化を でなり階層符号化/復号化部である。

結果がYESであれば、以降、制御部1は一覧表示を実 行するための助作を行なう。ここで、ファンクションキ 仰を器役するための回像メモリ、10は、回像情報の発 一は、1つのキー押下だけでなく、2つ以上のキーの同 度倍程、ワンタッチダイヤル情報などを配徴するための [0011]次に、本実協例に係る通信装置の動作につ いて、図2~図7に示すフローチャート、及び、図8に 説明する。ステップS201で、「一覧表示」を指示す るため、ユーザによるキーボード8上のファンクション **キー (不図示) の押下の有無を判定する。 ここでの判断** 印別するプリンタ、7は、電話回殺/無袋通信回換20 など収容するための通信技能邸、8は、相手側装置にダ イヤルするためのダイヤルキー、一覧表示を指示するフ アンクションキー、所図の画像を選択する選択キーなど が配置されているキーポード、9 は、送信または受信回 **信元份報、発價元略称、送價先榜報、送價先略称、將**殷 示す発呼倒、故呼倒装囹圄の信号シーケンス図に従って [0010]また、6は、送受信画像・管理情報などを RAM、そして、11は、免扱器を含む計数節である。 時、または運航押下でもよい。

留知される。

[0013] ステップS203でダイヤル入力があった 場合、甸匈部1は、通信技統部7に対して回換20の投 統を指示する。これを受けて、通信接続部7は回線を描 ここで、回袋とは、上述のように電話回線やISDN回 袋のような有袋回線でも、移動体通信やコードレスデレ [0012] 上記のキー押下によりタイマーT, が作助 し (ステップS202)、計数部11により工,時間の 計数を行なう。 エュ 時間内にダイヤルが入力があるかど うかをチェックレ (ステップS203)、ステップS2 04での時間経過監視の結果、T、時間が経過してもダ イヤルスカがない場合には、上配一覧表示の処理を終了 促し、ダイヤル情報を送出する (ステップS204)。 し、特徴状態に復帰する (ステップS 2 0 5 a) . フォン用の鉱袋回線でもよい。

8 既み出し、HDLC手順用のデータの作成を行なう(ス し (ステップ5206, 図8の5301参照). 計数部 1.1によりタイマーエ。を助作させる。そして、通信技 テップS205)。これに引き続いてCNG信号を送出 統部7は、T2時間内に被呼回よりのCED、及びNS F, CSI; DSI信号が検出されるかどうかの監視を [0014]次に、飼御部1は、CCITTのT. 4勧 告に従って、ROM3、またはRAM10よりデータを **庁なう (ステップS208, S209, 図8のS30** 

2 にはファクシミリ機能がないと判断して回数を切断する [0015] 丁。時間内に、上記のいずれの信号も紋出 されなければ (ステップS210)、 故呼仰の通信装置

(ステップ5211)。 なお、CNGは自助発呼のとき に送出されるが、手助発呼のときには送出されない。ユ **ーザがCEDにてファクシミリ敬能を起助させることに** 

[0016] CED, NSF, CSI, DIS於函商協 焼部7によって検出されると、飼御部1は、NSF, C SI, DISなどの隔析を行なう (ステップS21 より、発呼傾通倡装置は所定の手順助作を行なう。

が、NSFによってCCITTの規格外の非磁や機能が 2)。 つまり、DISによって、故呼回のCCITT規 格の疑節般結、伝送強度、抵サイズ、副走強裁密度など が適知される。また、CSIによって被呼側の電話参与

=

(ステップS213での牡斑がNO)、 気質等1は、デ ンプなどによって、相手側に一覧表示機能のないことを イスプレイ2、またはプリンタ6、あるいは不図示のラ 通知し (ステップS214)、回線を切断する (ステッ [0017] 本実施例における一覧表示機能は非保埠機 能なので、核呼側通信装置に一覧表示機能があるかどう かは、NSFを解析することによってわかる (ステップ S213)。そして、故母側に一覧表示敬能がない場合 78215).

信装置が受信するためのモードを被呼伽通信装置に通知 している場合は、故呼倒の符号化方式として、いわゆる **プログレッシブ・ビルドアップ/シーケンシャル・ビル** ドアップのいずれの方式が可能かなど、故呼回の一覧表 そして、甸母郎1は、この帰が結及をもとに、発序関通 [0018] 一方,故呼伽通信装置が一覧表示機能を有 示徴能のモードの解析を行なう (ステップS216)。 すべく、NSSデータを作成する (ステップS21

ピット列 (寛えば、"01111110") にて構成さ れる。また、Aはアドレスフィールドであり、1パイト の長さでデータ通信の端末番号を示すがファクシミリで [0019] ここで、本実施例に係る一覧表示用NSS ケンスを意味し、ソレームの関始と終わりを示す所定の し、データ通信での端末傾倒に用いるが、これもファク のフォーマットを説明する。図9はNSSデータのデー タフォーマット、図10はNSSデータの詳細なフォー マットをそれぞれ示す。 図9において、Fはフラグシー は用いていない。Cはコントロールフィールドを徴味 シミリの場合は利用していない。

ムの信号名が1パイトで入っている。例えば、DISの 場合、"000000001"である。FIFはファクシ ミリ・インフォーメーション・フィールドを意味し、F たフレームが正しく受信できたかどうかをチェックする ルドを意味し、ファクシミリの動作財政のため、フレー FCSはフレームチェックシーケンスを意味し、受信し [0020] FCFはファクシミリコントロールフィー CFでは表わせない細かい情報が入っている。そして、 ためのフィールドである。

る。つまり、第1、第2オクテットは、CCITTのメ ンパー符号を表わし、第3オクテットは、日本国内のユ 一ザ符号を扱わす。そして、第4オクテット以降は、ユ 一ザが自由に使えるエリアである。特に、第Nオクテッ 、と第N+1オクテットは、一覧投示用のデータである [0021] NSS信号におけるF1Fは、最初の3つ のオクテット (バイト) を除いて、ユーザが自由に使え (図10物照)。

をとる装置では、これら第2,第3ピット目は省略可能 を指示するピットで、それが"1"ならば、一覧扱示の 及収を意味する。ここでは、その指示が1 ピットのみで る。なお、他のオクテットで符号化方式を指定する構成 [0022] 図10において、第1ピット目は一覧表示 い。第2,第3ピット目は、一覧表示用の画像を受信す "00"はMH符号化方式を、"01"はMR符号化方 5 符号化方式を意味し、"11" は階層符号化方式を、 **長わされているが、連携するピットにて表わしてもよ** 式を、そして、"10"はMMR符号化方式を意味す

に、抜呼倒が少容型の面像メモリしか特たない場合、あ シャル・ビルドアップを要求するようになっている。な "1" のとをはプログレッシブ・ビルドア [0023] 第4ピットは、先の2ピットで階層符号化 ようになっている。例えば、故呼仰が大容弦の国像メモ りを持つ場合、もしくは、画像メモリの残量が十分ある 場合には、プログレッシブ・ビルドアップで送信し、逆 お、このピットが"0"のときはシーケンシャル・ビル あるいはプログレッシブ・ビルドアップかを超択される るいは、画像メモリの残量が少ないときには、シーケン が選択された場合、シーケンシャル・ピルドアップか、 ップを要求していることを意味する。

り、発呼側が一覧表示作成機能を有する装置であるかど うかを示す。つまり、発呼回が一覧表示作成が可能な装 **置である場合、 被呼回は、 国像データの一部、及び国**像 を送信し、一覧表示用のフォーマットにするのは送信闽 の腐性を示すデータの一部(例えば、発信元情報など) [0024] 第5ピット目は送留方式指示ピットであ

\$ ない装置である場合には、被呼側で一覧表示用にフォー マット化し、画像データとして発呼倒に送信することも こで、"000"は、第1ページ目を送信する指示であ [0026] 次に、郊N+1オクテットの第1ビット~ 【0025】なお、発呼回が一覧表作成機能を有してい 岡俊メモリに磐積されている画像データを通信体に管理 可能である。第6 ピット~第8 ピットは、抜呼側では、 しており、各通信の何ページ目を発呼倒に送信するか を、発呼側通信装置で指定できるようになっている。 る。なお、ビット様成は3ビットに限定されない。

0"のときは、最低解除度の階層からの送信要求を意味 し、また、"111"のときは、最高所像度からの送倒 要求を意味する。一方、MH, MR, MMR符号化が選 択されたときは、送僧所像度を指定するようになってい

は、故呼側で一覧表示用として送信する最終の階層を厳 味する。それが"000"のときは、最低解吸度の階層 の国像のみを法信するようになっている。 焼7、 好8 ビ ットは未定載である。これらの指示ビットは、ROM3 に据えられたデフォルト値により決まるが、ユーザがキ [0027] 第N+1オクテットの第4~第6ピット ーポード8より指定することも可能である.

技団の動作説明に戻る。 制御断1は、NSF, D18デ データを作成し (ステップS217)、それを被呼回に [0028] そこで、図4に示す、本実施例に係る通信 一夕と自己の뵎末装置の徴能などを参照しながらNSS 送出する (ステップS218, 図8のS305)。そし る。また、抜呼側では、送信する画像の数を通知する。 て、抜呼倒ではNSSデータを受信し、それを解析す

[0029] -方、発呼回では、NSSデータ送出と同 数を開始する(ステップS219)。T。時間内に故呼 テップS220)。そして、Ta時間内に送信回収数が 時に計数部11がタイマーT。を起動し、T。時間の計 側より送信画像数が通知されるかどうかを監視する(ス **通知されなければ(ステップS221での判断がYE** S) 異常とみなし、回線を切断する (ステップS22

2

に、また、画像の属性データは、RAM10の所定領域 受信画像数をカウントするため、計数部11は受信画数 [0030] その後、慰留部1は、ディスプレイ2、ま たはプリンタ6を使用して、処理が異常終了した旨をユ 一ザに通知する。 一方、送信画像数がN個であることを 枕いて、発呼側通宿装置は、画像データ、及び画像の属 カウンタを1=0にセットする (ステップ5223). 通知された場合 (ステップS220での判断がYES, 図8の5306)、以下の処理を実行する。すなわち、 性データを受信し (ステップS224, 図8のS30 7)、受信した国像データは画像メモリ9の所定領域 に格的される (ステップS225)。

e

での判定がNO, 図8のS308)、受信エラーの有無 他方、ステップS228で受債エラーがないと判断され れば、再び、ステップS224で、次の回像及び回像の [0031] 1カウンタを1つインクリメントレ (ステ をチェックし (ステップS228)、エラーがあればエ ラー情報の再送を要求し (ステップS229)、 続くス ップ5226)、12Nでなければ (ステップ5227 テップ5230で1カウンタを1つデクリメントする。

[0032] 1カウンタの値がNになれば、受信エラー の有紙をチェックし (ステップS231)、エラーがあ 属性を受信する.

S

が送信する暗图の最初の路图を意味する。これが"00

第3ピットは、路層符号化が強択された場合には被呼側

Œ

**特開平6-152840** 

キーボード8によって遊択されなければ (ステップS2 ディスプレイ上に表示する場合は、前の画像を順次消去 しながら弦示するようにすればよい。一覧投示国像をデ ィスプレイ2、あるいはプリンタ6へ出力し終った時点 アップS234)。続いて、T、時間以内に形図の画像 36での判断結果がYES)、回線を切断する(ステッ **行し、受信した回像データ及び回像属性データを順次表** 示するようにしてもよい。また、投示面徴が小さい彼品 で、計数部11は、タイマーエ。の計数を開始する (ス が紐択されたかどうかを監視し(ステップS235)、 [0033] なお、ディスプレイ2に表示する処理ステ ップをステップS225とステップS226の間にて奥 78237).

(0034) 一方、所図の回像が、図11に示すコード "1#"というキー押下によって強択された場合(ステ ップS235での判断がYES)、通信後続節7は、

239, S240)、"\*"キーが押された場合は、そ 我部7が、"\*"に相当するトーン、またはデータを故 れが次の画像を選択することを策味するとして、通信接 "1#"に相当するトーン、またはデータを被呼側通信 (ステップ5238)、計数的11はタイマエ。の計数 "\*" キーが押下されるかどうかを監視し (ステップS 装置に送出する。これによってタイマエ。がスタートし を行なう。そして、制御部1は、所定時間丁。以内に 身側通信数医に送出する.

一夕を、最初に受信した次の階層から最終の階層まで受 呼倒では、指定されなかった画像データ及び画像属性を **宿し (ステップS242)、受信した画像データを順次** て、回像メモリ9に格納された回像データを階層符号化 [0035] しかし、T。時間以内に"\*" キーが押さ は、指定された国像データを全ページ、次の階層から最 後の階層までを送信する(図8の5311)。また、発 **慣去する (ステップS241)。次に、指定した回像デ** れなければ、指定終了と判断する。このとき、故呼倒で 回像メモリ9に格納する (ステップS243)。 そし /位号化部5によって復号化する (ステップS24

S 粒の再送**熨**求をし(ステップS246)、エラー分を再 [0036] 受信したデータにエラーがあった場合(ス テップS245での利断結果がYES)には、エラー怜

送させる。しかし、受傷データにエラーがなければ、復 8)、そこでの判断がNOであれば、全指定分受信する まで繰り返す。全指定分受信したならば、MCF信号を **桜出し (ステップS249, 図8のS312)、核F図** からのDCN信号を役知して (図8のS313) . 回線 号した函像をディスプレイ2、またはプリンタ6より出 カする (ステップS247)。 そして、全指定分のデー タを受信したかどうかをチェックレ (ステップS24 を切断する (ステップS250)。

間を短縮させることができ、さらに、画像の縮小処理の ためのメモリも不要となるため処理速度が短縮されると 相手装団の画像及び画像の属性を、受借した低解像度レ るようにすることで、操作が容易になるとともに伝送時 イヤのみで一覧表示し、その中から所留のものを選択す [0037]以上説明したように、本突施例によれば、 いう効果がある。

2

タ6に出力する。

いるが、これを被呼倒との回線接続後、所定の相手装置 [0038] また、一覧表示の中から所望の画像を得る 場合でも、既に受信している低解像度の国像よりも1段 路高い解像度のレイヤより受信することで、通信時間の 短値を図ることができるのみならず、処理の複選化や技 効果がある。なお、上記の実施例では、手順信号により 被呼回の一覧扱示協能を動作させるような格成をとって の選択信号であるDTMF信号などによって一覧表示機 **囡の低価格化、低ランニングコストを実現できるという** 哲が別作されるようにしてもよい。 ន

に限定されるものではない。例えば、最初に画像属性の みを受信し、その中から必要な属性を選択した後、一覧 **表示用画像を作成するために画像データを受信し、次に** 所留の画像を指定してその全画像データを受信するよう [0039] また、上記実施例では、一覧表示機能を選 択した場合、相手からの画像データと画像属性を受信し て一覧表示用の画像を出力するようにしているが、これ に移用してもよい。

【0040】さらに、一覧表示により選択した画像を所 **虹の相手に送信するように構成してもよい。例えば、** 

送信するよう指示することになる。ここでは、#と#で 田まれた数字は電話番号を窓味するように定機されてい .5#"の画像を、電話番号123-5678の端末に "5#\*#1235678#"とキー入力した場合、

[0041] 本発明は、複数の機器から構成されるシス テムに適用しても1つの機器から成る装置に適用しても 良い。また、本発明は、システムあるいは装配にプログ ラムを供給することによって達成される場合にも適用で きることはいうまでもない。

[0042]

一覧表示された相手回袋屋に蓄積された画像熔報を遊択 的に受信することで、伝送時間の短縮、及び通信コスト 【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、

の軽減ができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

[図1] 本発明の実施例に係る通信装置の構成を示すブ ロツク図である [図2] 実施例に係る通信装置の助作を示すフローチャ ートである。

[図3] 実施例に係る通信装置の動作を示すフローチャ ートである。 [図4] 実施例に係る選信技配の動作を示すフローチャ 一トである。

[図5] 実施例に係る通信技団の動作を示すフローチャ

**ートである。** 

[図6] 実施例に係る通信装置の動作を示すフローチャ

[図7] 実施例に係る通信装置の動作を示すフローチャ **トトわおる** ートにおる

【図9】NSSデータのデータフォーマットを示す図で [図8] 実施例に係る発呼側、抜呼側装置間の倡号シー

[図10] NSSデータの詳値フォーマットを示す図で

韓間平6-152840

9

[図11] 灾施倒に係る一覧表示の表示例を示す図であ

1 登取部

[作号の説明]

ディスプレイ

MH, MR, MMR符号化/故号化部 ROM

路區存母化/復母化部

プリンタ

ナーボード 通信按款部

国俗メモリ

10 RAM

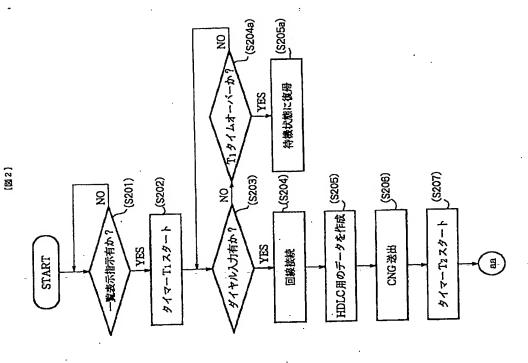
計数部 11

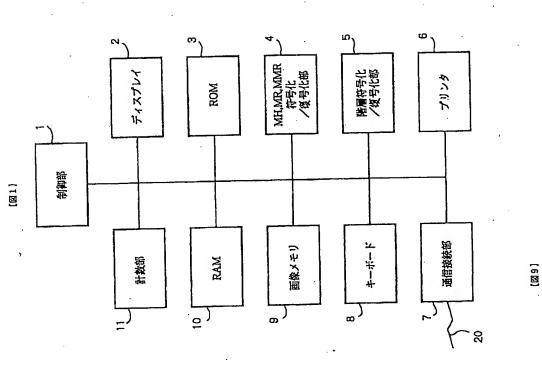
回 20

(図3)

(\$215)(\$214) (\$211) (\$210)8 ユーザーに通知 T2タイムオーバー 回蘇潛 回線斯 (\$213) (8209) (\$212) (\$220)2 S 2 NSF,CSI,DiS 標塔 NSF,CSI,DIS 核出 一覧表示機能有? 贸 CED 被出? ⊀ 덞







Ş

F A C FOP

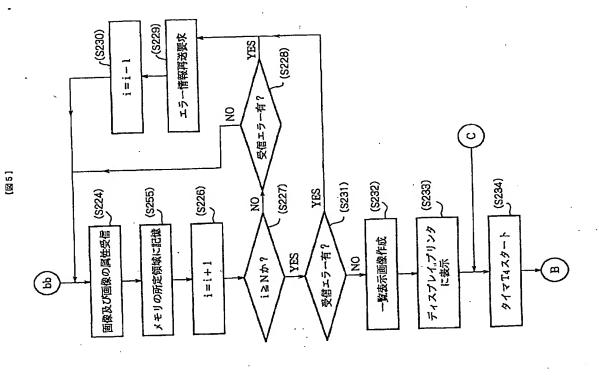
E

第119th 第219th 第219th BA37th (四TIO,シバー249) (ユーザの日前に (四TIO,シバー249) (ユーザの日前に

11一日日一日日十二日

[図4]

 $\bigcirc$ 



(\$222)

回線所

(8223)

受信過機的ウンタに i=0

3

T3944701

8

旅信画像数 通知か?

(\$219)

タイマーT3スタート

(\$218)

NSS データの送出

(\$217)

NSS データの作成

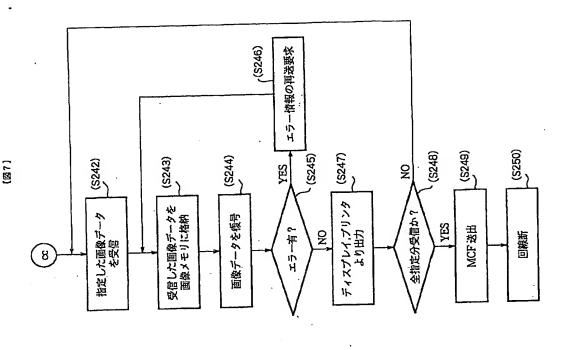
(\$216)

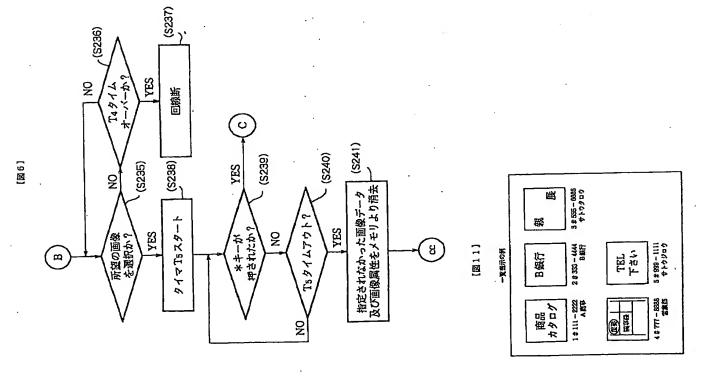
一覧表示モードの解析

YES

(8220)

YES





3

